

市川平 中島崇 河合政之 3人展

《VOLATILITY》

at アートファクトリー城南島

空港望む湾岸の巨大空間、光と音と映像走るインсталレーション

展示:2026年1月17日(土) - 3月20日(金・祝)、3/20:クロージング・イベント

WEBSITE: <https://gallery1045.com/archives/4589>

展示模様の映像: <https://youtu.be/OCNz8zt1c4I>

ライブ・パフォーマンス in オープニングイベントの記録映像: <https://youtu.be/nfvaNTD88Ng>

近年アーティストのスタジオやアートスペースが増え、アートの現場として注目されている大田区。その湾岸、飛行機が飛び交う空港を望む ART FACTORY 城南島に、都内最大級の現代アートスペースがあります。

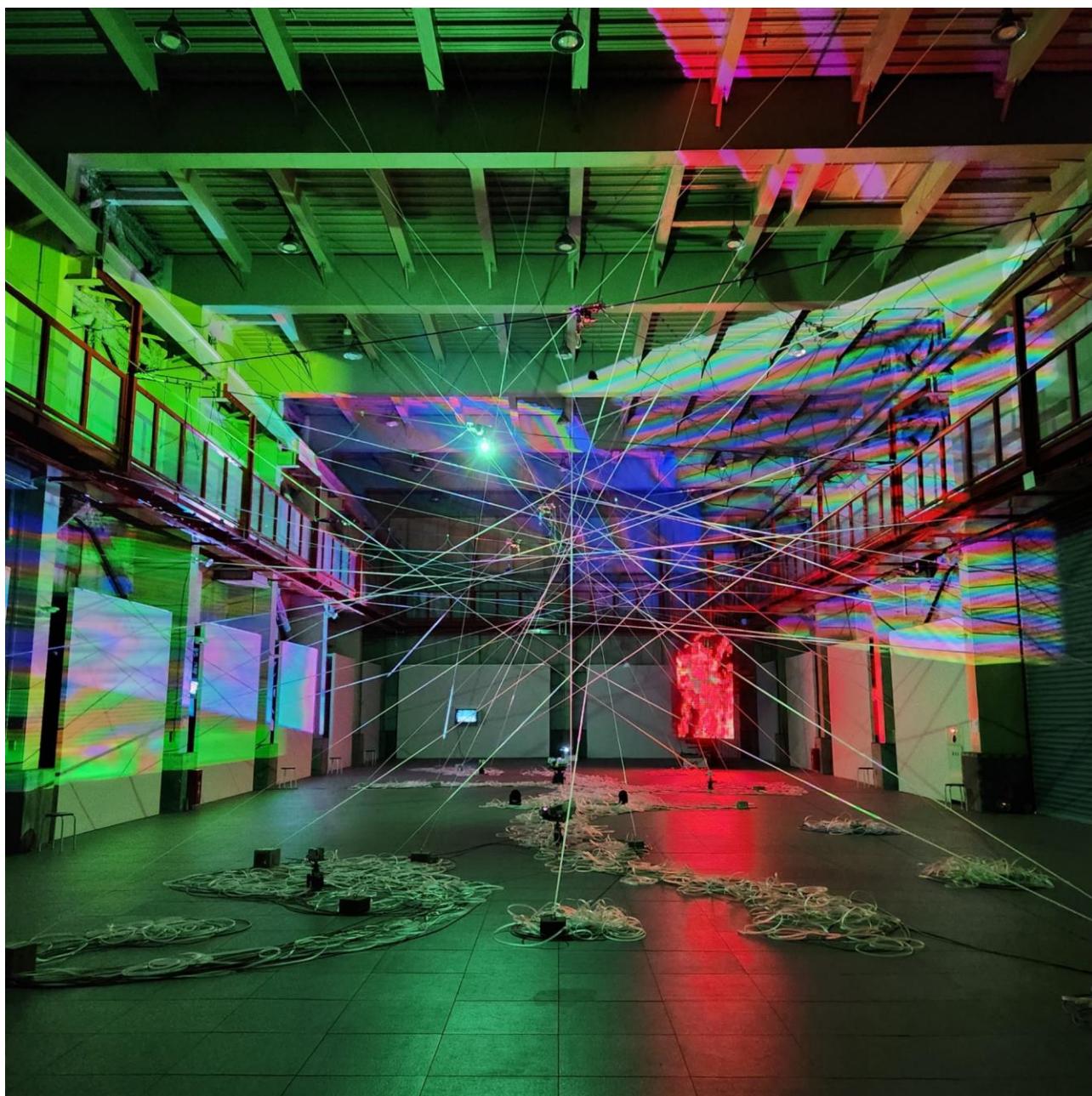
かつて故三島喜美代の代表作が常設展示されていたその場所で、三人のアーティスト—特殊照明作家・市川平、現代美術家・中島崇、ヴィデオアーティスト・河合政之一による、光と映像と音を使ったインсталレーションが展示されています。それぞれ手法は異なりながらも、流動的な環境との関係性をテーマとして作品を制作してきた作家たちによる共同制作です。

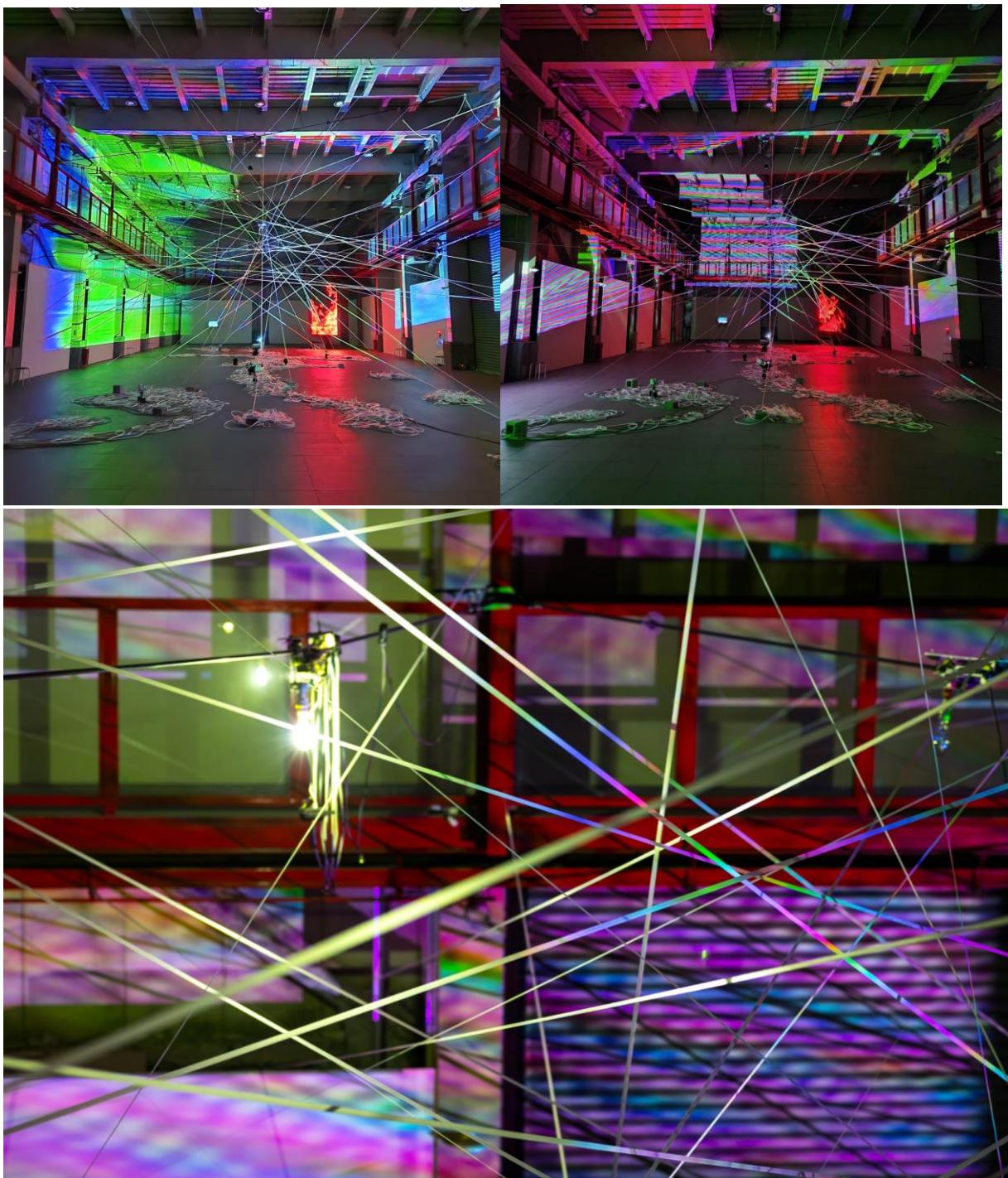
テーマは Volatility ( 挥発性・流動性 )。不安定な現代の世界をあらわす言葉として、ビジネスなどで使われています。事実とフェイク、正義と悪、精神と人工知能など、あらゆる境界が揺るがされるとともに、私たちは日々与えられる情報に翻弄され、かえって感性や思考の柔軟性を失っているように思われます。しかしこの展示では、むしろ揮発性や流動性をポジティブにとらえ直し、既成の意味や価値にとらわれない、しなやかな関係性の場を作り出そうとしています。

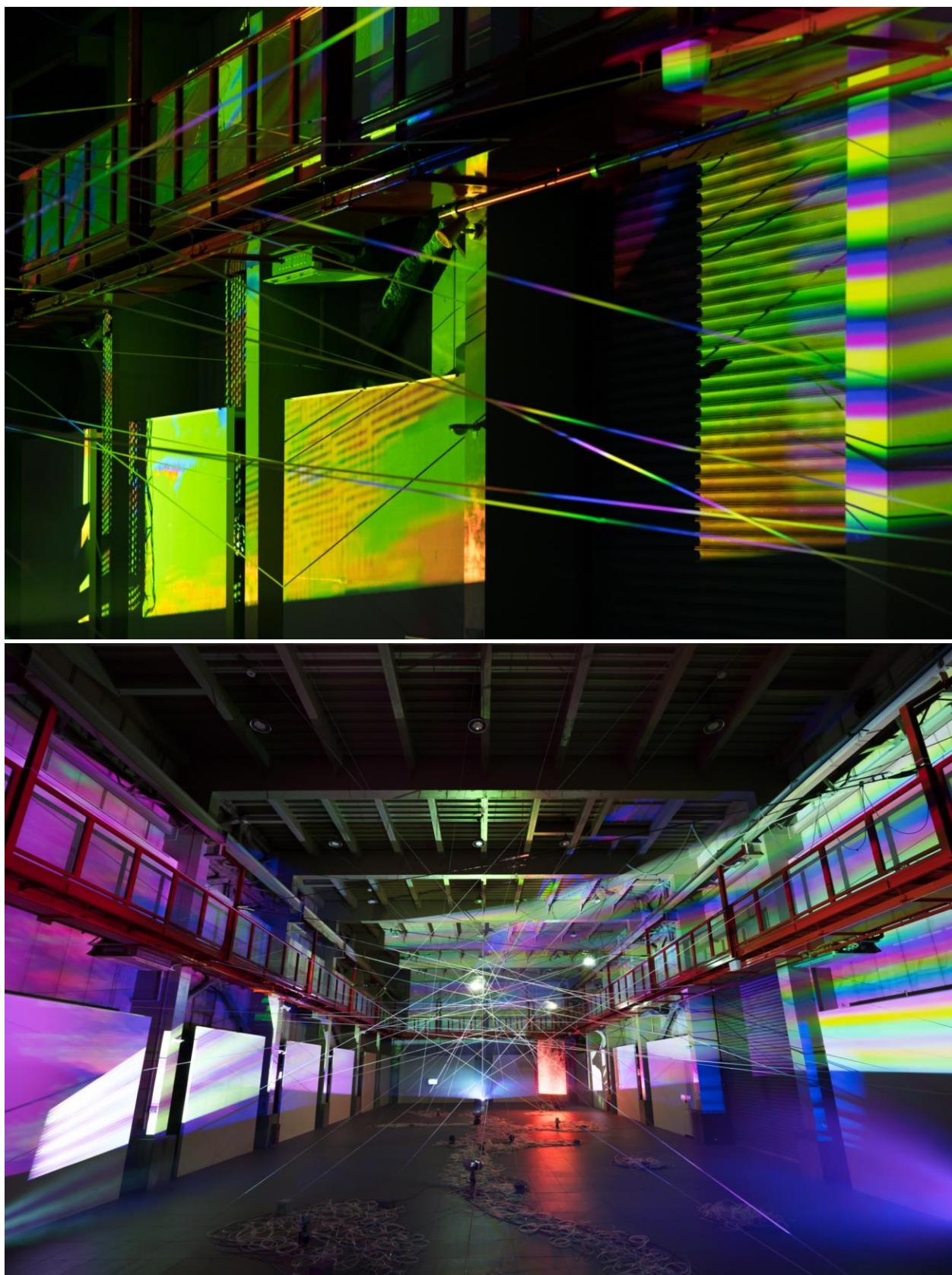
かつて電子部品の工場だった巨大な空間に張りめぐらされた網目を、映像や光が駆け抜け、そこかしこに突如イメージが現れても、揮発して影となり踊りだす、そのダイナミックな流れの中に身を浸してみてください。それはデジタルな計算の限界を超えて偶発性を呼び込み、その裂け目から想像力が生起する場となります。カオスとコスモスを行き来しながら、新しい自由が生成していく、没入感に満ちた時空間が展開されています。

オープニング・イベントには、共同制作のインスピレーション源となった南方熊楠の「南方マンダラ」をめぐって、研究者の唐澤太輔と三作家によるトークがおこなわれたほか、河合政之・市川平によるライブ・パフォーマンスもおこなわれ、大変多くの観客が訪れました。

クロージング・イベントでは、脳科学者の中野信子をゲストに迎えてトークがおこなわれ、ふたたび河合政之・市川平によるライブ・パフォーマンスもおこなわれます。







- ・開催内容、日程

展覧会 2026年1月17日(土) - 3月20日(金・祝) 会期中無休 11:00-17:00

イベント 2026年1月17日(土)、3月20日(金・祝)

- 1/17 ( 土 ) オープニングイベント ( 終了しています )

15:00- トーク ( ゲスト : 唐澤太輔 ( 南方熊楠研究 ) )

16:00- ライヴ・パフォーマンス ( 河合政之、市川平 約 45 分 )

( peatix で申込、参加費 : 2000 円 ) <https://peatix.com/event/4744695>

17:00-18:00 レセプション

( 申込不要、参加無料 )

- 3/20 ( 金・祝 ) クロージングイベント

15:00- トーク ( ゲスト : 中野信子 ( 脳科学者 ) )

16:00- ライヴ・パフォーマンス ( 河合政之、市川平 約 45 分 )

( peatix で申込、参加費 : 2000 円 ) <https://peatix.com/event/4744695>

- 入場料

展覧会 : 無料

イベント : 2,000 円 ( Peatix にて販売 ) <https://peatix.com/event/4744695>

- 会場・お問い合わせ

ART FACTORY 城南島 1F 展示場

〒143-0002 東京都大田区城南島 2-4-10

Tel 03-6684-1045

Email: [artfactory-j@toyoko-inn.com](mailto:artfactory-j@toyoko-inn.com)

Google Maps: <https://maps.app.goo.gl/qD18riTsrog5mvAu6>

Website: <https://gallery1045.com/archives/location/art-factory-jonanjima>

・作家略歴

市川平



<http://www.taira-ichikawa.com/>

1965年大田区生まれ、大田区在住。1991年武蔵野美術大学大学院修了。現代的なモチーフを選び、彫刻に様々な素材や要素を取り入れ、SF的な物語性を感じさせる作品群を制作。2016年より元彫刻家の特殊照明作家として、多数のコラボレーションワークを実現。2021年「市川平セルフコラボ展」(発電所美術館) 2020年「岡本太郎美術館20周年記念展」(川崎市岡本太郎美術館)など。



中島崇



<https://nakajimatakashi.net/>

1972年東京都生まれ。1994年桑沢デザイン研究所写真研究科卒業。2001年ベルリンを拠点に、帰国後は東京在住。レディーメイドな梱包資材を用いて、場や環境が潜在的に持っている特性を可視化し、その場の日常的知覚を搖さぶり、新たなコトを喚起するようなインсталレーションを国内外、屋内外で制作発表している。2025年「Pulp it!」ヴァンジ彫刻庭園美術館など。



### 河合政之



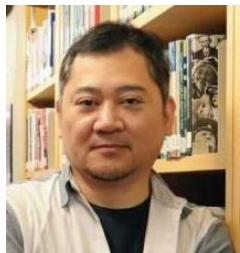
<http://masayukikawai.com/>

ヴィデオ・アーティスト。1972年大阪生まれ、東京在住。東京大学文学部美学芸術学科卒業、同大学院総合文化研究科博士後期課程単位取得退学。情報化社会や映像・メディアの本質についての哲学的考察から、ラディカルなヴィジョンを提示する独自のスタイルで作品を制作。映画、現代美術、ライブ・パフォーマンスなどのジャンルにとら

われず、探求的な手法による活動を国際的に展開する。



・ トークゲスト



唐澤太輔（登壇：1月17日）

1978年神戸市生まれ。早稲田大学大学院社会科学研究科博士後期課程修了。秋田公立美術大学・大学院准教授。専門は哲学、文化人類学。南方熊楠の思想や彼が研究した粘菌の生態などを哲学的に探求している。



中野信子（登壇：3月20日）

脳科学者。1975年東京都生まれ。東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。東日本国際大学教授・京都芸術大学客員教授。森美術館理事。アートへの造詣も深く、脳や心理学をテーマに研究や執筆の活動を行う。

・ 会場へのアクセス

公共交通機関をご利用の場合：

JR 大森駅（東口）・京浜急行線大森海岸駅または平和島駅・東京モノレール流通センター駅（南口）より 京急バス「森32系統（城南島循環）」「城南島二丁目」下車徒歩3分 下車後、バスの進行方向と同じ方向に真っ直ぐ歩いてください。十字路を渡って3軒目の赤い門の建物です。

※バスの本数が少ないので予め「京急バス森32系統（城南島循環）」の時刻表をご確認ください。

※大森駅東口から城南島二丁目まではバスの乗り換えの必要はありません。

お車の場合：敷地内の無料駐車場をご利用ください。（台数制限あり）

自転車・バイクの場合：敷地内の無料駐輪場をご利用ください。

シェアサイクル「ドコモバイクシェア(K-1.68)」もご利用いただけます。

主催：Volatility 実行委員会

協賛：株式会社ギャラリー1045、アクセンチュア芸術部、アート・ウィズ・ダイバーシティ合同会社、桑原商店株式会社、藤井竜平、高輪こども矯正歯科 勝見聰子

特別協力：株式会社東横イン

# 空港望む沿岸の巨大空間、光と音と映像走るインスタレーション

Volatility(揮発性、流動性)は不安定な現代の世界を表

しています。事実とフェイク、正義と悪、精神と人工知能、あらゆる境

界が揺るがされています。錯綜する情報、蔓延する不信と敵対、分断される

社会、そしてそれを管理操作するビッグデータ。の中では、リスクを避け、スマ

ホに眼差しを貼り付け、AIに心と頭脳を預けて生きることしかできないのでしょうか?

しかし一方で、この混沌とした状況は、デジタルな計算の限界を超えて偶発性を呼び込み、そ

の裂け目から想像力が生起する場ともなり得ます。それぞれ流動的な環境との関係性をテーマとし

て、作品を制作してきた3人のアーティストが集まり、引き起こされる化学反応。張りめぐらされた網目を

光が駆け抜け、そこかしこに突如現れたイメージは、たちまち揮発して影となり踊りだします。

Volatility のただ中で、カオスとコスモスを行き来しながら、新しい自由を生成する時空間へと向けて。



市川平 特殊照明作家

1965年大田区生まれ、大田区在住。1991年武蔵野美術大学院修了。現代的なモチーフを選び、彫刻に様々な素材や要素を取り入れ、SF的な物語性を感じさせる作品群を制作。2016年より元彌刻家の特殊照明作家として、多数のコラボレーションワークを実現。2021年「市川平セルフコラボ展」(発電所美術館) 2020年「岡本太郎美術館 20周年記念展」(川崎市岡本太郎美術館)

<http://www.taira-ichikawa.com/>

中島崇 現代美術家

1972年大阪生まれ、東京在住。東京大学文学部美学藝術学科卒業。同大学院総合文化研究科博士後期課程単位取得退学。情報化社会や映像・メディアの本質についての哲学的考察から、ラディカルなヴィジョンを提示する独自のスタイルで作品を制作。映画、現代美術、ライブパフォーマンスなどのジャンルにとらわれず、探求的な手法による活動を国際的に展開する。

<https://nakajimatakashi.net/>

河合政之 ビデオ・アーティスト

1972年大阪生まれ、東京在住。東京大学文学部美学藝術学科卒業。同大学院総合文化研究科博士後期課程単位取得退学。情報化社会や映像・メディアの本質についての哲学的考察から、ラディカルなヴィジョンを提示する独自のスタイルで作品を制作。映画、現代美術、ライブパフォーマンスなどのジャンルにとらわれず、探求的な手法による活動を国際的に展開する。

<http://masayukikawai.com/>

## VOLATILITY

日時 2026.1.17 — 3.20 / 11:00 — 17:00 (最終入館は16:30まで) [入場無料] 休館日 [会期中無休]

場所 ART FACTORY 城南島 1F 展示場 〒143-0002 東京都大田区城南島2-4-10

WEB SITE <https://gallery1045.com/archives/location/art-factory-jonanjima#exhibition> イベントのお申し込み <https://peatix.com/event/4744695/view>

Peatix



1/17(土)  
オープニングイベント  
15:00 トーク(ゲスト:唐澤太輔(南方熊楠研究))  
16:00 ライブパフォーマンス(河合政之・市川平 約45分)  
(以上 Peatix で要申込、参加費:2000円)  
17:00 - 18:00 レセプション(申込不要、参加無料)

3/20(金・祝)  
クロージングイベント  
15:00 トーク(ゲスト:中野信子(脳科学者))  
16:00 ライブパフォーマンス(河合政之・市川平 約45分)  
(以上 Peatix で要申込、参加費:2000円)



3/20 GUEST  
中野信子

脳科学者。1975年東京都生まれ。東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。秋田公立美術大学・大学院准教授。専門は哲学、文化人類学。南方熊楠の思想や彼が研究した枯萎の生態などを哲學的に探求している。

→ 公共交通をご利用の場合 JR大森駅(東口)、京急大森海岸駅または平和島駅、東京モノレール流通センター駅(南口)より、京急バス「森32系統(城南島循環)」に乗車し、「城南島二丁目」下車。

バスの進行方向に直進し、徒歩1分ほど、赤い門が目印の建物です。

※「森32系統(城南島循環)」に乗車時は、乗り換える必要はございません。

→ お車の場合 敷地内の無料駐車場をご利用ください。(台数制限あり)

→ 自転車・バイクの場合 敷地内の無料駐輪場をご利用ください。

シェアサイクル「ドコモ・バイクシェアのポート(K-1.68)」もご利用いただけます。

お問い合わせ先: ART FACTORY 城南島

〒143-0002 東京都大田区城南島2-4-10

TEL.03-6684-1045

FAX.03-6682-4786



公式HP

Instagram

GALLERY 1045

特別協力: 株式会社東横イン

協賛: 株式会社ギャラリー1045 藝術部 桑原商店

